

映画の世界は、どのようにつくられるのか。

映画美術の世界

映画の世界観をつくりあげる、
奥深い映画美術。

映画ができあがるまでの流れや、
映画美術のお仕事について、
映画『国宝』で第 49 回日本アカデミー賞
最優秀美術賞を受賞した
下山奈緒さんにお話しいただきます。



2026

9.20 [日]

メディアキット県民文化センター 大練習室 2

14:00-15:30

(宮崎県立芸術劇場) 宮崎市船塚 3 丁目 210 番地

対 象 中学生以上

定 員 50 名程度 ※先着順

受講料 1,000 円 ※事前申込み制

申込締切 定員に達し次第

お申込み 右の二次元コードから
お申込みください。

詳細・お申込み



講師 下山 奈緒 Nao Shimoyama

1986 年、東京都生まれ。2009 年、多摩美術大学環境デザイン学科卒業。卒業後は美術監督の種田陽平氏 (YOHTA DESIGN)、西村貴志氏 (松竹) に師事。『悪人』('10)、『小さいうち』('13)、『永遠の 0』('13)、『男はつらいよ』('19)、『居眠り磐音』('19) 等、東京と京都で多数の国内作品に美術助手として参加。Disney+ ドラマ『House of the Owl』('23) で美術デザイナーデビュー。映画『国宝』('25) では第 49 回日本アカデミー賞最優秀美術賞、第 80 回毎日映画コンクール美術賞を受賞。他、映画、CM、配信ドラマ、舞台でも活躍。

